

## 再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	一般国道 301 号 (額田北 <sup>ぬかたきた</sup> 拡幅)				
事業箇所	岡崎市 <sup>きりやま</sup> 切山町				
事業のあらまし	<p>一般国道 301 号は、静岡県浜松市から、愛知県新城市を経て豊田市に至る延長約 100km の主要幹線道路である。また、第 2 次緊急輸送道路に指定され、防災上重要な路線でもある。</p> <p>本路線は、新城を含む三河山間部と豊田中心市街地を結ぶ、地域間連携を担う唯一の幹線道路であるが、未改良区間が残され、カーブ区間が連続する等、円滑な交通の妨げとなっている。</p> <p>さらに、平成 24 年度より下山地域においてトヨタ自動車の研究開発施設の整備が始まっており、今後は更なる交通量の増加が見込まれている。</p> <p>このため、本事業は一般国道 301 号の未改良区間 (幅員狭小、線形不良) を拡幅し、幹線道路としての機能確保を図るものである。</p>				
事業目標	<p>【達成 (主要) 目標】</p> <p>(1) 山間・離島対策の推進 (日常生活の利便性向上)</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2015 年度)	再評価時 (2023 年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2015 年度 ～2022 年度	2015 年度 ～2027 年度	用地取得の遅れ (+5 年)	
	事業費 (億円)	9.5	9.5	—	
	経費内訳	工事費	8.2	7.5	設計精度向上による事業費見直し (-0.7 億円)
		用補費	0.8	0.8	—
その他		0.5	1.2	設計 (委託) 費用の増額 (+0.7 億円)	
事業内容	現道拡幅 延長 L=1.35km 幅員 W=10m 2 車線	現道拡幅 延長 L=1.35km 幅員 W=10m 2 車線	—		
II 評価					
① 事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>(1) 山間や離島の暮らしを支える社会資本の整備</p> <p>三河山間部と豊田市方面へのアクセス道路として非常に重要な幹線道路であるが、幅員が狭く、1 車線の現道狭隘区間では、車両のすれ違いが困難な状況である。また、道路線形も不良で、見通しが悪く、往来する人や車両の安全性に課題があり、整備が必要である。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>前回評価時から、状況の変動要因はなく引き続き整備の必要がある。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>依然として安全・円滑な交通に支障をきたしており、引き続き整備の必要がある。</p>			

②事業の進捗状況及び見込み	判定	B	<p>A：事業着手時に比べ必要性が増大している。          B：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。          C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】          線形不良区間や狭隘区間における自動車の安全性・走行性向上の観点から、事業の必要性にほとんど変化がないため。</p>																																																																																																																																																																			
	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2015 ~2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> <td colspan="4">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td colspan="4">←→</td> <td></td> <td colspan="4">←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・土工</td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> <td colspan="4">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・舗装工</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業費(億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="10" style="text-align: center;">9.5</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="10" style="text-align: center;">5.1</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="10" style="text-align: center;">5.1</td> <td>9.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>1.4</td> <td>0.8</td> <td>57%</td> <td>1.4</td> <td>57%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>9.5</td> <td>5.1</td> <td>54%</td> <td>9.5</td> <td>54%</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>8.2</td> <td>3.7</td> <td>45%</td> <td>7.5</td> <td>49%</td> </tr> <tr> <td>  用補費</td> <td>0.8</td> <td>0.5</td> <td>63%</td> <td>0.8</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>0.5</td> <td>0.9</td> <td>180%</td> <td>1.2</td> <td>75%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、約74%</p>												2015 ~2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計	工種区分	調査・設計	←→		←→										用地補償	←→				←→								工事	←→					←→						・土工	←→				←→							・舗装工			←→						←→			事業費(億円)	当初計画	9.5										9.5	実績	5.1										5.1	今回計画	5.1										9.5		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	1.4	0.8	57%	1.4	57%	事業費(億円)	9.5	5.1	54%	9.5	54%	工事費	8.2	3.7	45%	7.5	49%	用補費	0.8	0.5	63%	0.8	63%	その他	0.5	0.9	180%	1.2	75%
			2015 ~2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計																																																																																																																																																								
	工種区分	調査・設計	←→		←→																																																																																																																																																																	
用地補償		←→				←→																																																																																																																																																																
工事		←→					←→																																																																																																																																																															
・土工		←→				←→																																																																																																																																																																
・舗装工				←→						←→																																																																																																																																																												
事業費(億円)	当初計画	9.5										9.5																																																																																																																																																										
	実績	5.1										5.1																																																																																																																																																										
	今回計画	5.1										9.5																																																																																																																																																										
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																																																		
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																																																																																	
延長(km)	1.4	0.8	57%	1.4	57%																																																																																																																																																																	
事業費(億円)	9.5	5.1	54%	9.5	54%																																																																																																																																																																	
工事費	8.2	3.7	45%	7.5	49%																																																																																																																																																																	
用補費	0.8	0.5	63%	0.8	63%																																																																																																																																																																	
その他	0.5	0.9	180%	1.2	75%																																																																																																																																																																	
2) 未着手又は長期化の理由	<p>・用地の取得に時間を要しているため。</p>																																																																																																																																																																					
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】          ・地元より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。</p> <p>【今後の見込み】          ・2027年度までに整備が完了する予定である。</p>																																																																																																																																																																					
判定	B	<p>A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。          B：次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>○ ．これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要</li> </ul>																																																																																																																																																																				

		<p>因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p> <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
	<p><b>【理由】</b></p> <p>・今後、多少の阻害要因が見込まれるものの、一定期間を要すれば解決できる見通しがあり、概ね 2027 年度までに整備完了が見込まれるため。</p>	
<p>III 対応方針</p>		
<p><b>継続</b></p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>	
<p>IV 事後評価実施の有無と主な評価内容</p>		
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>・視距及び通行空間の確保による走行性・安全性向上の状況</p>		